

音声教材普及推進会議

受託団体説明動画

広島大学 文字・画像付き音声教材

UD-Book



広島大学大学院人間社会科学研究科



UD-Bookの紹介

UD-Bookのコンセプト, 操作方法, 適応, 申請方法

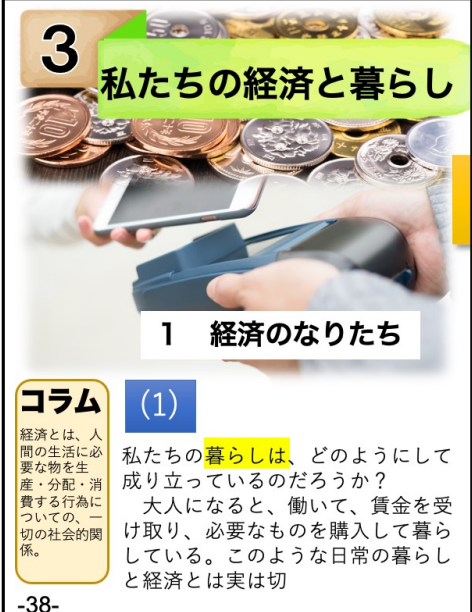
UD-Book規格について（言葉の整理）

固定モード

- ・ 原本に近い表示モード
- ・ 原本のレイアウトで表示

行移モード

- ・ 文字のみの表示モード
- ・ 文字拡大時画面幅で行移

 <p>3 私たちの経済と暮らし</p> <p>1 経済のなりたち</p> <p>コラム (1)</p> <p>経済とは、人間の生活に必要な物を生産・分配・消費する行為についての、一切の社会的関係。</p> <p>私たちの暮らしは、どのようにして成り立っているのだろうか？ 大人になると、働いて、賃金を受け取り、必要なものを購入して暮らしている。このような日常の暮らしと経済とは実は切</p> <p>-38-</p>	<p>わたし けいざい 3 私たちの経済と 暮らし ~生活の中 の経済~ けいざい 1 経済のなりたち (1) 私たちの暮らし は、どのようにして 成り立っているのだ</p>
---	---

固定モード

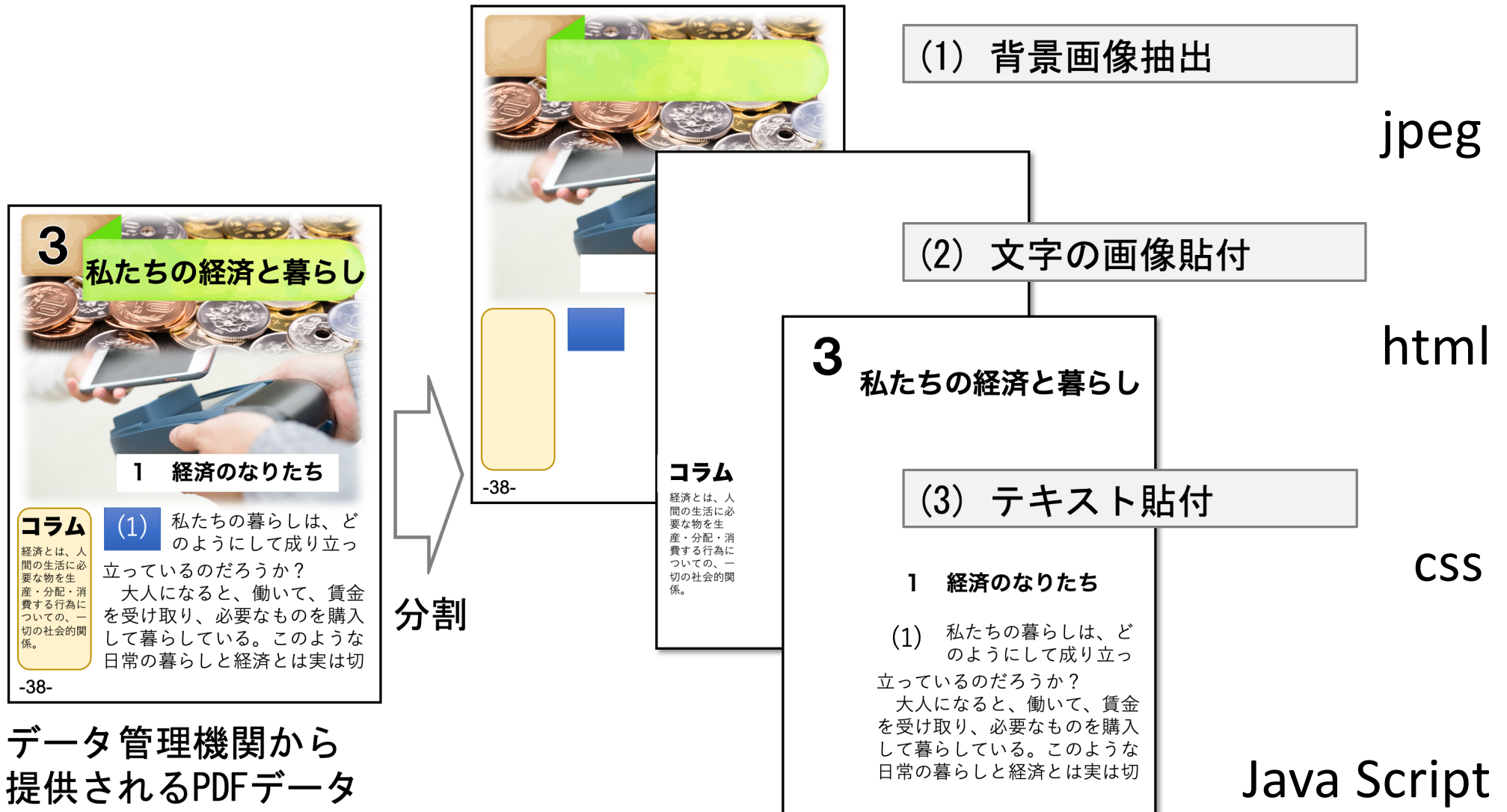
行移モード

UD-Book規格について

e-Pat（令和3年度までの規格）から学んだこと。

- 固定モードでの読み上げ
- 固定モードの見開き表示
- 固定モードの縦書きの読み上げ
- ふりがなの，平仮名表示
- 行移モードと固定モードの同時表示
- iPad, Windows, ChromeBookでの利用

UD-Book規格について



UD-Book規格について（操作の様子）

UD-Bookの適応

UD-Bookが向いている児童生徒の状況

- ・ 診断や心理検査・発達検査等は不要です。
- ・ 紙の教科書を初見で読んだ際、読めない漢字が多い。
- ・ 紙の教科書を初見で読んだ際、たどたどしい。
- ・ ふりがなを表示すると、読める。
- ・ 読み上げ音声（合成音声）で聞くと内容が理解できる。
- ・ 合成音声に苦手さが無い。

UD-Bookについて その他

- 本文外の音声化
 - 可能な限り読み上げ設定を行ってしています。
 - 行移形式では本文の流れを重視しており，本文外の読み上げを行っていません。
 - 小さい文字はポップアップで表示設定してしています。
- デジタル教科書と音声教材
 - 同じ閲覧ソフトでの利用が適している場合
 - デジタル教科書が発行されていない場合



申請方法

UD-Bookの申請方法（概要）

【学校の作業】

【大学の作業】

個別の教育支援計画または様式A2のデータを準備してから申請してください！

障害認定申請



障害認定

利用者ID等通知

提供申請

様式B1で、必要な教科書情報をオンラインで送付
様式B1での送付先は、利用者ID通知時にお知らせ

音声教材製作

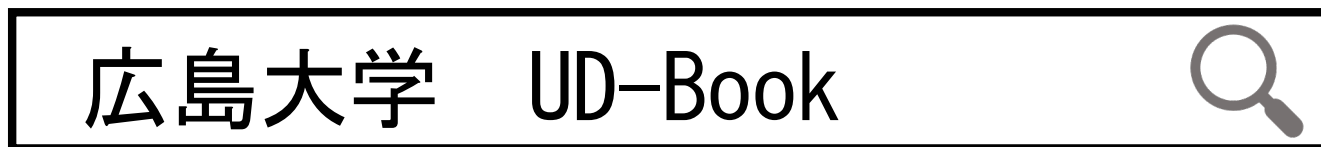
UD-Bookサイトでお知らせ

教材取得



UD-Bookの申請方法

- ・ Step1 広島大学UD-Book（文字画像付き音声教材）
ホームページサイトの検索



- ・ Step2 「申請方法」をクリック



UD-Bookの申請方法

- 申請方法 1（新規申請）：
初めて広島大学製作音声教材を申請する場合
- 申請方法 2（継続申請）：
現在，広島大学音声教材を利用したことがあり，
登録番号（利用者ID）を取得済みで，今年度，
次年度の申請を行う場合

UD-Bookの申請方法

申請方法 1 （新規申請）：初めて申請する方

・ステップ1：障害認定申請

◎ 広島大学申請フォームから申し込みの場合

→様式A2・個別の教育支援計画・個別の指導計画のうちいずれかのデータ

◎ 郵送で申込の場合

→様式A1、様式A2・個別の教育支援計画・個別の指導計画のうちいずれかのデータ、返信用封筒（長3 84円切手貼付、1名分）の3点

・ステップ1.5：障害認定（広島大学が行います）

メールでの通知

「UD-Bookサイトの利用者IDおよびパスワードのお知らせ」（障害認定結果通知）の郵送

UD-Bookの申請方法

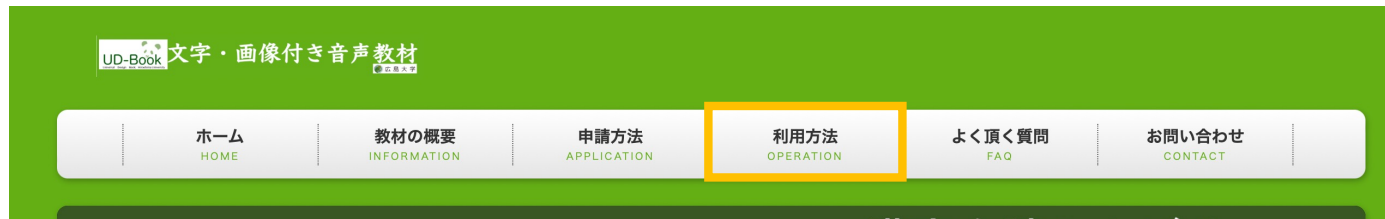
申請方法 1 （新規申請）：初めて申請する方

・ ステップ2：音声教材提供申請

◎ 広島大学制作音声教材提供申請フォームから申し込み

→様式B1提出

「利用方法」よりUD-Bookリーダーを機器にインストールします



・ ステップ3：提供（納品）

Ud-Bookサイトへログインし、使用機器へ教材をダウンロードします。

（提供は製作が完了次第、順次行っています。都度、メールでご連絡いたしますが、サイトへログインすることで、製作状況を確認できます）

UD-Bookの申請方法

1. 指導者もUD-Bookを申請いただけます！
指導者登録用に様式Cで申請します。
詳細は、申請時にご案内します。
2. オンラインでの読みの評価を行います！
Zoomで接続して、読みの評価を行います。
3. 新年度には年次更新手続きをお願いします！
新担当者情報をオンラインで調査いたします。
4. 指導者用定期勉強会をオンラインで開催しています。

UD-Bookの申請方法（オンラインでの方法）

UD-Bookサイトで様々な情報をお知らせ！

The screenshot displays the UD-Book website interface. On the left, a sidebar contains navigation links: 学校ページ (School Page), 指導者ページ (Instructor Page), and 利用者ページ (User Page). The main content area shows the user's profile for 速習 太郎 (0000). Below the profile, there are sections for announcements (お知らせ) and survey results (アンケート). The survey results show the first survey completed on 2022/06/21 and the second survey currently in preparation. A section for audio material download information (音声教材ダウンロード情報) includes a link to the reader download page (リーダーダウンロードページへ) and a ZIP file decryption password (ZIPファイル解凍パスワード) for bg6HNadTj7. A status table (ステータス) shows the application status as 'UD-Book完成' (UD-Book Complete) with a '詳細' (Details) link. At the bottom, a table lists individual materials with columns for applicable year, school name, subject name, order date, receipt date, delivery date, status, and action.

適用年度	学校名	教科書名	発注年月日	受付年月日	納品年月日	ステータス	操作
2022	音声教材学校	教材追加取得練習教材	2022-03-01	2022-03-01	2022-06-28	UD-Book完成	詳細

UD-Bookの取得方法

UD-Bookホームページにて解説動画，手順書を配信！

ホーム
HOME

教材の概要
INFORMATION

申請方法
APPLICATION

利用方法
OPERATION

よく頂く質問
FAQ

お問い合わせ
CONTACT





前年度の実績 今年度の状況

2021年度 e-Pat申請実績

• 利用登録者数：327名

• 申請者数 234名

〈申請者内訳〉

• 小学校 126名 (53.8)

• 中学校 59名 (25.2)

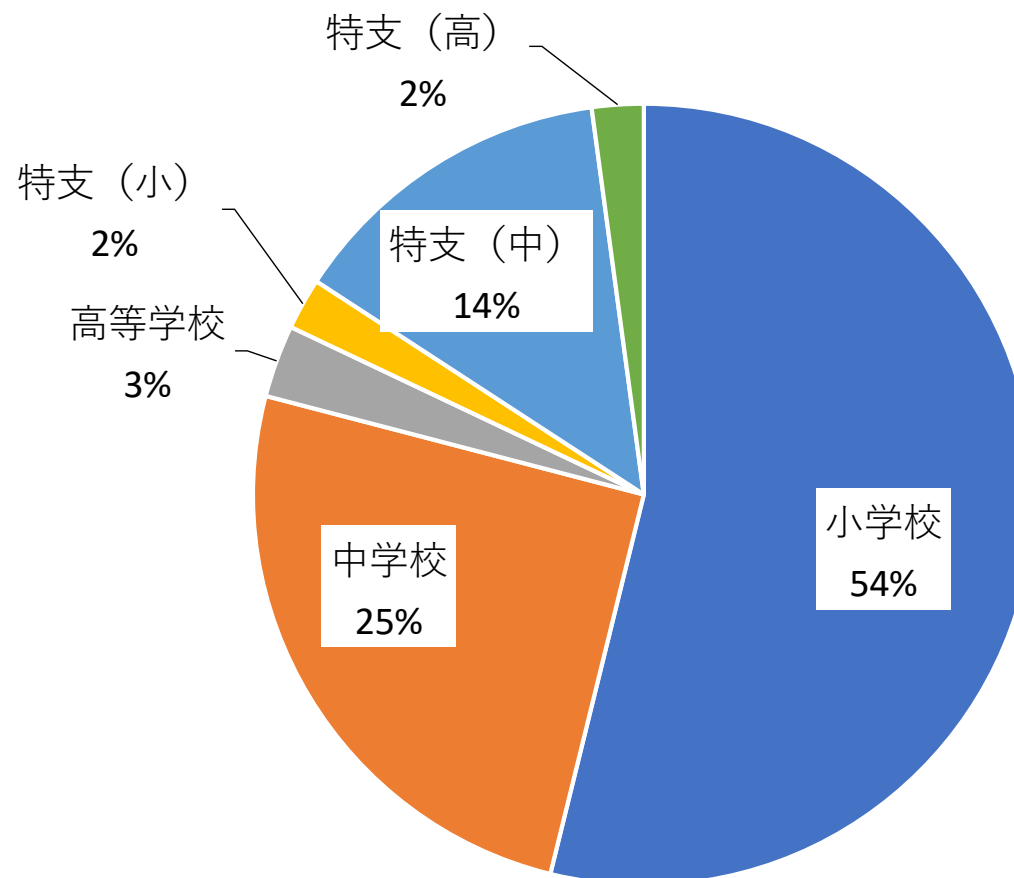
• 高等学校 7名 (3.0)

• 特別支援学校 (17.9)

• 小学部 5名 (2.1)

• 中学部 32名 (13.7)

• 高等部 5名 (1.9)



2021年度 e-Pat提供実績

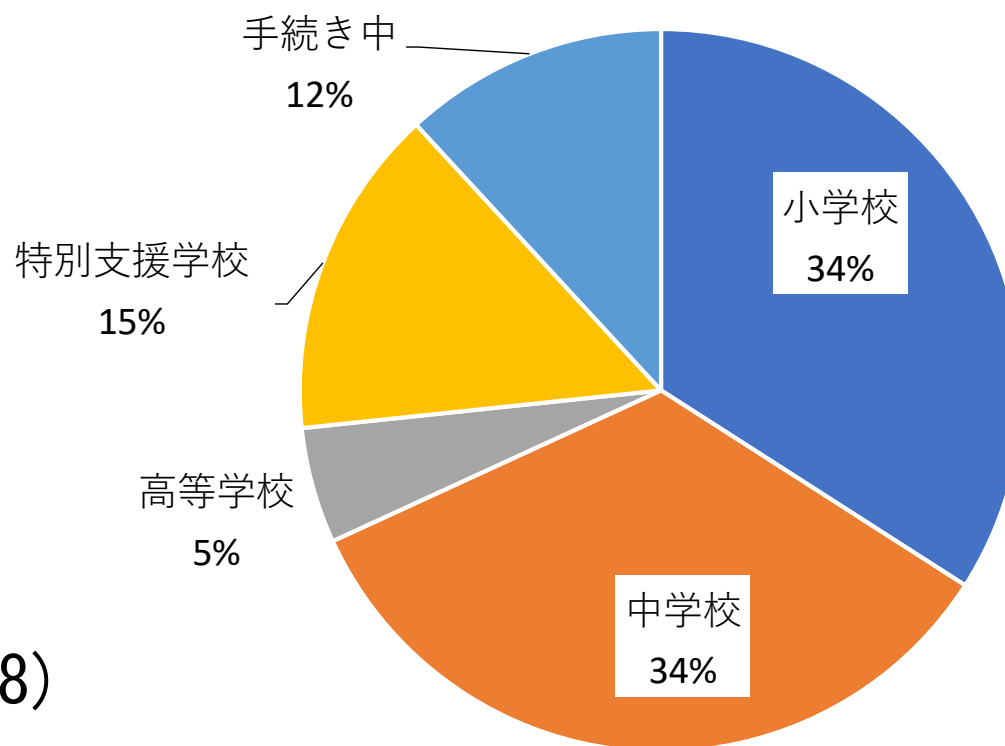
		申請
全体	タイトル	403
	冊数	2,632
小学校	タイトル	208
	冊数	1,290
中学校	タイトル	143
	冊数	1,271
高等学校	タイトル	52
	冊数	71

2022年度 UD-Book申請状況

- 利用登録者数：374名
- 申請者数 135名

〈申請者内訳〉

- 小学校 46名 (34.1)
- 中学校 46名 (34.1)
- 高等学校 7名 (5.1)
- 特別支援学校 20名 (14.8)
- 申請手続き中 16名 (11.9)



2022年度 UD-Book提供状況

- 1,549 (420タイトル)
- 小学校用教科書 166タイトル(41教材制作)
- 中学校用教科書 106タイトル(15教材制作)
- 高等学校用教科書 135タイトル
- 特別支援学校用教科書 13タイトル



活用の様子

音声教材活用指導

- 定期的な音声教材活用方法指導
- 遠隔地（zoom）、対面
- R3から継続した取り組み



UD-Book利用者からの声 ①

• 中学1年生 A

利用場面	学校 ・頭痛で文字が読みにくい時 家庭 ・頭痛で文字が読みにくい時 ・オンライン授業受講中
活用の内容	読み上げ機能を利用している ・文節の間隔を省略してスムーズに聞く 拡大機能を利用している
UD-Bookの良さ	・見開きでページを確認できる *特に国語はわかりやすい ・読み上げをしながら、画面を拡大したり移動できる

UD-Book利用者からの声 ①

The screenshot displays the udBook Ver.1.2 interface. The left page features a title '見えにくい子どもへのサポート Q&A' (Support for Children with Visual Impairments Q&A) and the author '氏間和仁' (Wakamiwa Kazuhito). The right page is titled 'はじめに' (Introduction) and contains the following text:

私(氏間)は、2008年6月に宮城県で開催された第17回視覚障害リハビリテーション研究発表大会に参加しました。そのシンポジウムの1つで、小中学校に勤める先生方から、担任する児童生徒の中に弱視の子どもが在籍しているという話を耳にしました。そして、その中のある先生は、次のような話をされました。

「5月6月には、視覚特別支援学校(盲学校)のセンター的機能を利用して相談を申し込むことができましたし、8月には地域の視覚特別支援学校などで開かれる研修会に参加できました。けれど、始業式から相談申し込みや研修会までの数か月間、弱視の子どものニーズにきちんと応じられているのか、いけない指導をしているのではないかととても心配でした。そうはいっても、同じクラスの30名ほどの子どもたちの指導もあり、良心の呵責に苛まれながら日々の業務をこなす毎日でした」。

私は、これは大変なことだと強く感じました。「弱視の子どもが、人生で一度しかない学校生活の1週間、1日、1時間が適切に過ごせる

The interface includes a top status bar with 'udBook Ver.1.2', a left sidebar with navigation buttons (つぎ次, まえ前, R, 単, S), a right sidebar with navigation buttons (つぎ次, まえ前, R, S) and a vertical toolbar with icons for search, print, and other functions. A central navigation bar at the bottom contains play, stop, and refresh buttons.

UD-Book利用者からの声 ②

・ 中学3年生 B

利用場面	学校 ・ 漢字の読み方がわからない時 家庭 ・ 受験勉強 ・ 漢字の読み方がわからない時
活用の内容	拡大機能を利用している ふりがな表示機能を利用している
UD-Bookの良さ	・ 教科書のどこのふりがなを表示しているのかわかりやすい ・ 見づらい漢字は画面を拡大して確認できる

UD-Book利用者からの声 ②

The screenshot displays a digital document viewer with a central text area and a vertical toolbar on the right. The text is in Japanese and includes a green highlight. The toolbar contains icons for home, page, list, back, forward, search, and a magnifying glass. The text on the left page is as follows:

はじめに
わたし うじま にせんはちねん るくがつ みやぎけん
私(氏間)は、2008年6月に宮城県で
かいさい だいじゅうななかいしかくしょうがい
開催された第17回視覚障害リハビリテ
けんきゅうはっぴょう たいかい さんか
ーション研究発表大会に参加しまし
た。そのシンポジウムの1つで、
しょうちゅうがっこう つと せんせいがた たんにん
小中学校に勤める先生方から、担任す
じどうせいと なか じゃくし こ ざいせき
る児童生徒の中に弱視の子どもが在籍し
ていてという話を耳にしました。そし
て、その中のある先生は、次のような
はなし
話をされました。

「5月6日には、視覚特別支援学校
もうがっこう てききのう りょう そうだん
(盲学校)のセンター的機能を利用して相談
もうしこ はちがつ
を申し込むことができましたし、8月には
ちいき しかくとくべつしえんがっこう ひら
地域の視覚特別支援学校などで開かれる
けんしゅうかい さんか
研修会に参加できました。けれど、
しぎょうしき そうだんもうしこ けんしゅうかい すう
始業式から相談申し込みや研修会までの数
げつかん じゃくし こ
か月間、弱視の子どもニーズにきちんと

The text on the right page is:

はじめに
私(氏間)は、2008年6月に宮城県で開催された第
17回視覚障害リハビリテーション研究発表大会に参加
しました。そのシンポジウムの1つで、小中学校に勤める
先生方から、担任する児童生徒の中に弱視の子どもが
在籍しているという話を耳にしました。そして、その中
のある先生は、次のような話をされました。
「5月6日には、視覚特別支援学校(盲学校)のセンター的
機能を利用して相談を申し込むことができましたし、8月
には地域の視覚特別支援学校などで開かれる研修会に参加
できました。けれど、始業式から相談申し込みや研修会ま
での数か月間、弱視の子どもニーズにきちんと応じられて
いるのか、いけない指導をしているのではないかととても
心配でした。そうはいつでも、同じクラスの30名ほどの
子どもたちの指導もあり、良心の呵責に苛まれながら日
々の業務をこなす毎日でした」。私は、これは大変なこ
とだと強く感じました。「弱視の子どもが、人生で一度
しかない学校生活の1週間、1日、1時間が適切に過
ごせる

SDG's 目標 4 を音声教材で！



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

ご清聴ありがとうございました。



広島大学
氏間研究室

uji-office@hiroshima-u.ac.jp